



1_一投一投雄たけびがあがった「砲丸投げ」 2_「とことこ☆かけっこ・よ〜いドン!」で元気になる子どもたち 3_「紅白玉入れ」では楽しそうな笑い声が上がりました 4_熱戦が繰り広げられた「3オン3バスケット」 5_交流情報センターミナテラス内では各種測定コーナーや健康相談が行われました 6_益城幼稚園の園児たちによるかわいいアトラクション 7_安心安全コーナーでは飲酒時の視野を体験 8_総合体育館内でフェンシング競技の体験コーナー 9_スタートからゴールまでデッドヒートが展開された校区対抗 400m リレー 10_一糸乱れぬ動きで会場を沸かせた九州学院チアダンス部の演技

秋晴れのスポーツ日和となった10月7日、町総合運動公園内の陸上競技場、総合体育館、交流情報センターミナテラスを会場とした「さまざまにスポーツ健康フェスタ」が約2,500人の選手、大会関係者、観客を集め、盛大に開催されました。

この催しはスポーツ活動を通じて健康・体力づくりを図り、町民の親睦友情を深める目的で毎年開催され、今年で18回目を迎えました。

会場各地に各種体験コーナーや展示コーナー、校区対抗競技のほか、子どもからお年寄りまで気軽に参加できるスポーツコーナーが用意され、さまざまな競技に参加者はさわやかな笑顔と心地よい汗をかいていました。

総合体育館、交流情報センターミナテラス内では、健康管理と体力づくりを再認識してもらうため歯科健康相談、各種測定、運動指導、介護用品展示など健康コーナーが設置され、参加者は測定結果や運動指導に聞き入っていました。

メインのトラック競技では、毎年大盛り上がりを見せる種目の400メートルリレーと校区対抗総合リレーが行われました。

校区対抗総合リレーは1チーム18人の選手で構成される校区の威信をかけた大リレー。各校区の抜きつ抜かれた大熱戦が繰り広げられると、この日一番の歓声があがり、会場は拍手と声援に包まれました。